

平成 28 年度 第 1 回越前町地域公共交通会議

議 事 録

開催日時：平成 28 年 6 月 2 日(木)

午後 1 時 30 分から午後 3 時 30 分まで

開催場所：越前町役場 別館 2 階 大会議室

●出席者

・委員：16名

(欠席者4名 梅沢委員、遠矢委員、島委員、吉村委員)

・事務局：4名 渡邊総務理事、畑企画財政課長、谷口課長補佐、
佐々木主査

●議事概要

(1) 会長および副会長の選任について

事務局	本会議の要綱により「会長及び副会長を置き、委員の互選によって定める」ということになっておりますが、本会議が住民や事業者の意見を吸い上げて、地域の実情に即した輸送サービスの提供について協議すること、また、国、県との協議をしなければならないこと、それに予算措置も伴うことから、今まで通り、会長に内藤町長、副会長に浅沼先生にお願いしたいと思います。これにご異議ございませんでしょうか。
	異議なしの声
事務局	異議なしの声がございましたので、ご承認いただける場合は拍手でお願いします。拍手全員でございますので会長は内藤町長に、副会長に浅沼先生に決定しました。 慣例によりまして、議長は副会長の浅沼委員にお願いいたします。 公務のため会長退席。

(2) 平成 27 年度コミュニティバス及び路線バスの状況について

事務局	事務局より説明
浅沼副会長	利用者数の減少について、利用者の死亡以外の原因は何かありますか。
事務局	介護施設に入居されている方も増加しており、コミュニティバスに接続している主要な町内施設の利用者数は減少傾向にあります。それらが主な原因で

	あると考えています。
時田委員	この会議はどういったことを議論するのか具体的に教えてください。
事務局	本会議は地域の公共交通をつくりあげていくために、バスの運行ルートや時刻等の変更について住民や交通事業者、行政など関係者がみんなで話し合っ て決める会議です。
岡田委員 (福井運輸支局)	補足させていただきますと、地域の実情に応じた適切な運行形態及び運賃・ 料金等に関する協議や、コミュニティバスの運行路線および料金に関する協 議をする会議です。 今回、福井運輸支局よりお配りした資料に本会議についての記載があります ので、ご覧頂くようお願いいたします。
時田委員	わかりました。公共交通の利便性を高めていくのか、町が支出しているコミ ュニティバスや路線バスの費用を抑制していくのかどちらの方向で検討し ていくのか。
事務局	利便性とコストとのバランスを踏まえ検討していきたいと考えています。
浅沼副会長	路線バスの状況の資料ですが、乗車密度の数字が毎年あまり変わっておら ず、前年度と比較することが難しいのですが、乗車人数等は分からないので しょうか。
矢部委員	バス事業者としては路線バスの乗車人数は正確には把握しておらず、正確な 数字が把握できるのは運賃収入ぐらいです。
浅沼副会長	織田地区巡回ルートの減少が顕著で3分の1程度に落ち込んでいるが、何か 対応は考えているのか。
事務局	まだ先のことですが、コミュニティバス全体を見直す際に、織田地区のコミ ュニティバスについては抜本的な見直しが必要と考えています。
浅沼副会長	分かりました。以上、特に質問もないようですので、平成27年度コミュニ ティバス及び路線バスの状況につきまして承認とさせていただきます。

(3) 越前町地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

事務局	事務局より説明
時田委員	この計画はどのような計画なのか。読んでいても分かりづらいのですが。
事務局	本計画は国庫事業の地域公共交通確保維持改善事業の申請時に必要な生活 交通確保維持改善計画です。補助対象となる路線はコミュニティバスの朝 日・宮崎・織田地区巡回ルートのデマンド運行分となります。 コミュニティバスに係る町の負担額は、利用者数が減少している中、毎年度 4500万程度で推移しています。町の負担額を少しでも減らすために、国 庫補助を利用できる路線については国庫補助制度を利用していきたいと考 えています。
浅沼副会長	分かりづらいのは、国庫補助事業の様式も関係していると思うが。
岡田委員 (福井運輸支局)	補足させていただきますと、本計画のフィーダー路線は、合併前の市町間を 運行している国庫補助対象幹線バスに接続している路線バスに接続してい るコミュニティバスが対象となります。様式については、制度で決まってい

	るものなので分かりづらく申し訳ありませんがよろしくお願ひします。
事務局	本計画は3ヶ年計画を毎年、国に提出するようになっていっています。特に質問等がなければ、多少の計画変更も事務局へ一任することも含めて、承認いただけますでしょうか。
浅沼副会長	特に質問もないようですので、越前町地域フィーダー系統確保維持計画(案)につきまして承認とさせていただきます。

(4) その他

伊部委員	北陸新幹線福井駅延伸時の交通アクセスについての質問ですが、現在京福バスで水仙ランドまで運行している便を越前町内の道の駅「越前」まで延伸できないか。
矢部委員	伊部委員が述べられた京福バス菜崎線は生活路線バスであるので、越前町から福井方面の便は午前中に、福井方面から越前町への便は午後に集中しています。現状のまま延伸し観光目的として利用するということであれば難しいとは思いますが、関係市町と検討していきたいと思ひます。
山下委員	上戸区長の山下です。先日、福鉄バス福浦線の上戸地区のルート変更について、町から依頼を受けました。路線バスのルート変更については、通学のためのもので、住民の総意としては大丈夫そうなのですが、路線バスを利用される方が1名おり、バス停を移設するときにバス待合所をなんとかできないかとの意見がありました。町の方でバス停移設後のバス待合所の設置について検討していただき、その回答を持って再度地元へ話をもち帰って検討したいと考えています。
事務局	再度、上戸区長さんに状況をお聞きし検討していきたいと思ひます。
小柳委員	コミュニティバスが走っているのを良く見かけるが、空席が目立ちます。車輦をもう少し小さくしてはどうか。
事務局	まだこの先数年は現在の車輦を使用する予定ですが、更新する際には車輦を小さくする予定をしています。
小柳委員	先程、この会議で検討する内容がわかりづらいとの意見がありましたが、今年度から始まった通学定期券を個人負担6万円で購入できる通学支援制度は、色々な方々から大変評判が良いと聞いています。今まで会議に出させていただいている中で、本会議の中で出てきた意見を事務局が吸い上げ今回のように制度に反映している場合も多く見受けられる。
浅沼副会長	今までの交通会議で議論した内容や実績を、一度交通会議で報告することが皆さんも分かりやすいのではないかと。
事務局	分かりました。
向當委員	通学で利用する路線バスは朝と夕方には便があるのですが、年に数回、午後1時2時頃に学校が終わる場合があります。私のように自営業をしている者は子どもを迎えに行けるのですが、それ以外の生徒はバスの待ち時間が2、3時間ある場合があります。それらの路線バスが運行していない時間帯にコミュニティバスを隣の市へ乗り入れるとか、越前町の端まで運行するなどして

	対応することはどうでしょうか。
時田委員	先日、新聞で京丹後市のウーバーについての記事を見たのですが、越前町にも合うのではないかと思いますので、調査・検討をお願いします。
岡田委員	ウーバー（白タク）については、国の法律では認められていませんが、内閣府の構造改革特区の中で一部認められており、国への手続きも大変複雑です。この件については、随時福井運輸支局へ相談をお願いいたします。
浅沼副会長	他になにかありますか。ないようですので、以上を持ちまして会議を終了します。